

## ● 最近の県内経済

### 基調判断

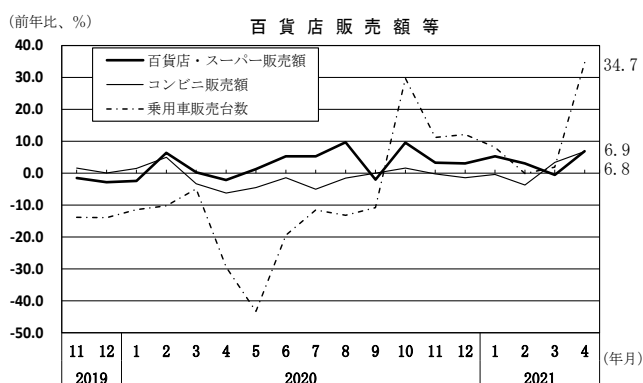
(2021年4月を中心として)



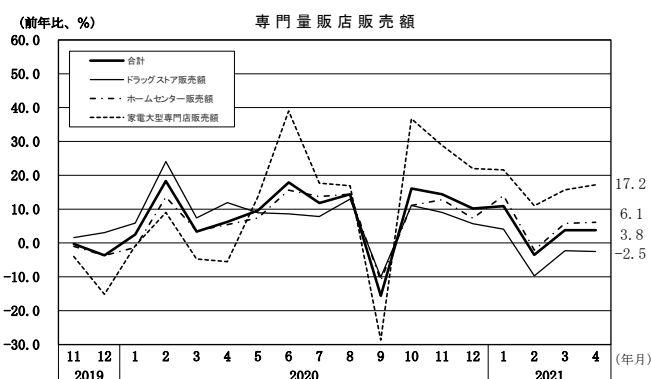
### 今月の概要

県内景気は、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられるなど、依然として厳しい状況にある。

## 1 個人消費 持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など



(資料) 経済産業省

4月の百貨店・スーパー販売額（店舗調整前）は、1,045億円で前年比6.9%増となった。百貨店は同168.1%増で3か月連続の増加、スーパーは同0.1%減で2か月連続の減少となった。一方、コンビニ販売は522億円で同6.8%増と、2か月連続の増加となった。

乗用車販売は、前年比34.7%増と2か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車（同7.7%増）は6か月ぶりの増加、普通車（同49.2%増）、軽乗用車（同50.1%増）はそれぞれ7か月連続の増加となった。

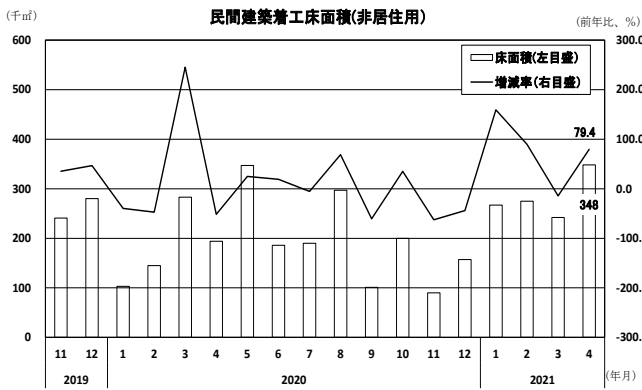
百貨店・自動車販売を中心に、昨年4月の緊急事態宣言発出による消費の落ち込みの反動が表れた結果となった。

4月の専門量販店販売額は、729億円で前年比3.8%増となった。内訳をみると、ドラッグストアが368億円で同2.5%減（3か月連続の減少）となったものの、家電大型専門店が170億円で同17.2%増（7か月連続の増加）、ホームセンターが191億円で同6.1%増（2か月連続の増加）となった。

家電大型専門店やホームセンターは、巣ごもり関連商品が好調に推移している。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、3月〈35.7〉、4月〈35.3〉、5月〈34.8〉で推移している。

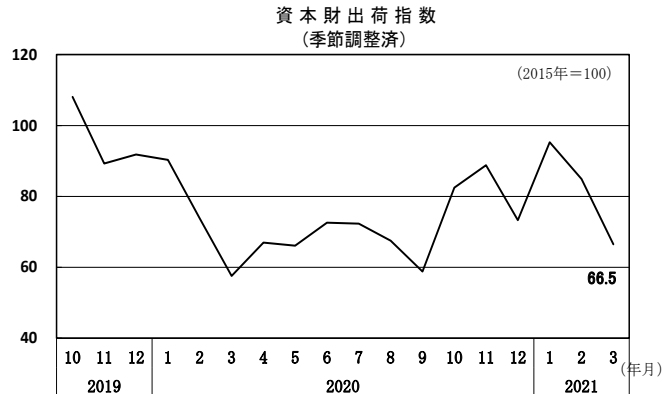
## 2 設備投資 持ち直しの動きがみられる



(資料)国土交通省

4月の民間建築着工床面積（非居住用）は、348千㎡で前年比79.4%増となった（5か月後方移動平均でも前年比28.3%増）。

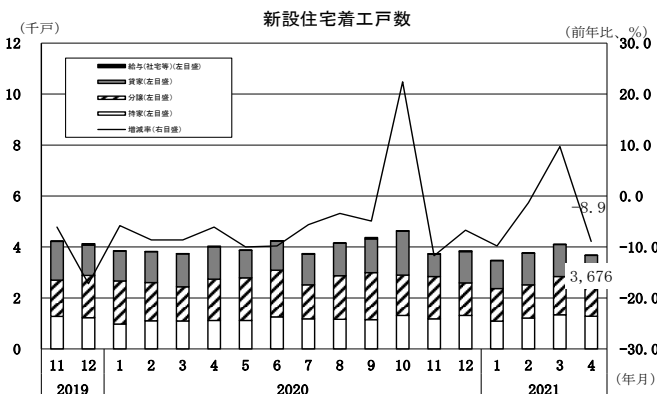
用途別にみると、店舗、事務所、工場および作業場、倉庫、病院・診療所はいずれも増加した。



(資料)埼玉県

3月の資本財出荷指数（季節調整済）は、66.5で前月比21.7%減と2か月連続の減少となった。（5か月後方移動平均では、前年比3.2%減）

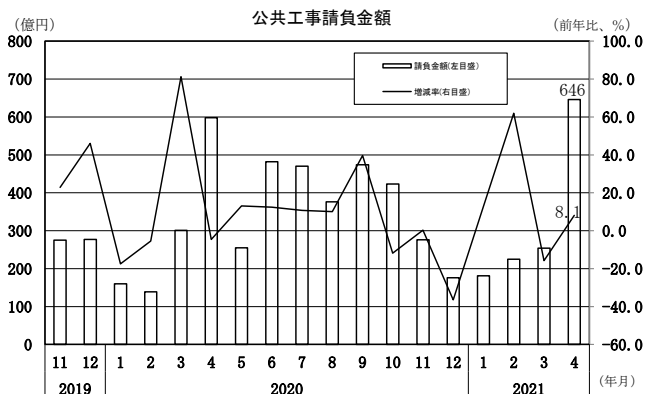
## 3 住宅建設 下げ止まっている



(資料)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、3,676戸で前年比8.9%減と2か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均では、3.6%減）。利用関係別にみると、持家（1,285戸）が同14.9%増となったものの、貸家（1,152戸）が同8.9%減、分譲マンション（87戸）が同78.6%減、分譲一戸建（1,144戸）が同5.6%減となった。

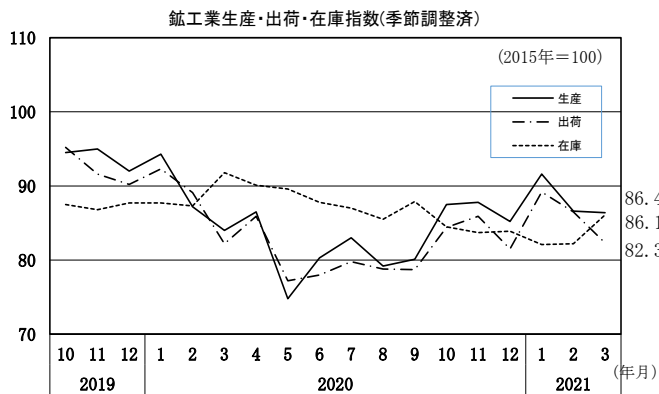
## 4 公共工事 増加基調



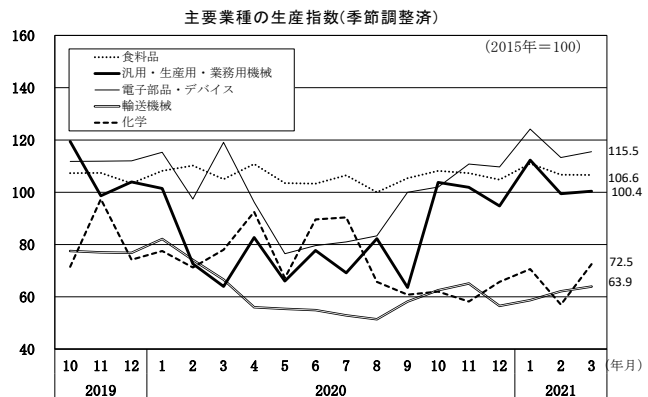
(資料)東日本建設業保証株式会社

4月の公共工事請負額は、646億円で前年比8.1%増となった（5か月後方移動平均でも前年比0.5%増）。発注者別でみると、国、市区町村、地方公社は減少したものの、独立行政法人等、都道府県はいずれも増加した。

## 5 生産活動 持ち直している



(資料)埼玉県



(資料)埼玉県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、86.4で前月比0.2%低下(2か月連続の低下)。化学(医薬品、合成樹脂塗料)、電気機械(電力変換装置、サーボモータ)などが上昇したが、生産用機械(金型、半導体製造装置)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが低下した。

出荷指数(同)は、82.3で同4.9%低下(2か月連続の低下)。パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)、化学(医薬品、ウレタンフォーム)などが上昇したが、生産用機械(半導体製造装置、金型)、情報通信機械(カーナビゲーション、交換機)などが低下した。

在庫指数(同)は、86.1で同4.7%上昇した(2か月連続の上昇)。輸送機械(普通トラック、けん引車)、生産用機械(整地機械、研削盤)などが低下したが、プラスチック製品(プラスチック容器、発砲プラスチック製品)、化学(印刷インキ、合成樹脂塗料)などが上昇した。

◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、106.6で前月比0.1%低下し、2か月連続の低下となった。

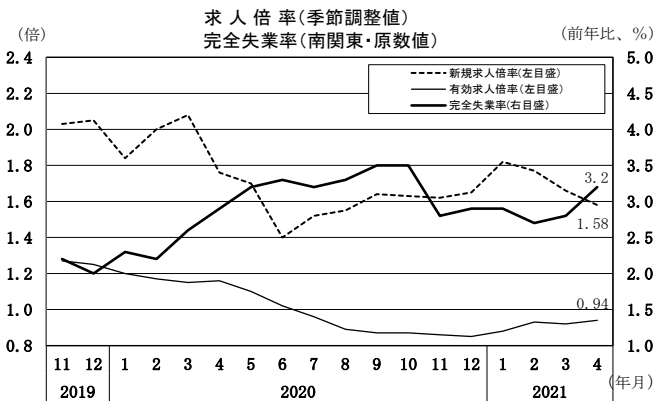
◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、100.4で同1.0%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 電子部品・デバイス(同)は115.5で同1.9%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

◆ 輸送機械(同)は、63.9で同2.9%上昇し、3か月連続の上昇となった。

◆ 化学(同)は、72.5で同27.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 弱い動き

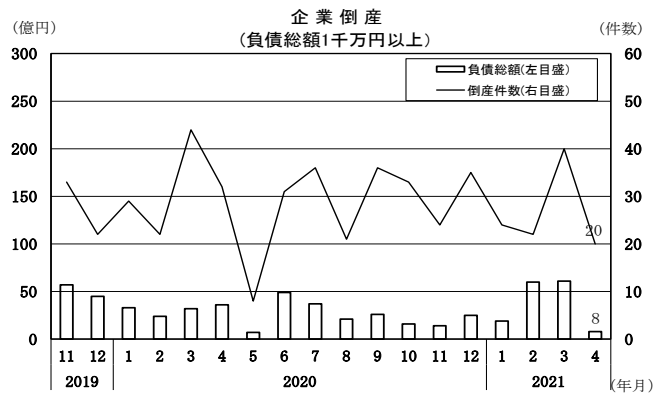


(資料)厚生労働省、総務省

4月の有効求人倍率(季節調整済)は、0.94倍で前月比0.02㊦上昇(2か月ぶりの上昇)した。依然として10か月連続で1倍を下回っている。新規求人倍率(同)は、1.58倍で同比0.08㊦低下(3か月連続の低下)した。

完全失業率(南関東、原数値)は、3.2%で前年同月比0.3㊦上昇した。(前年同月比15か月連続の上昇)

## 7 企業倒産 一進一退



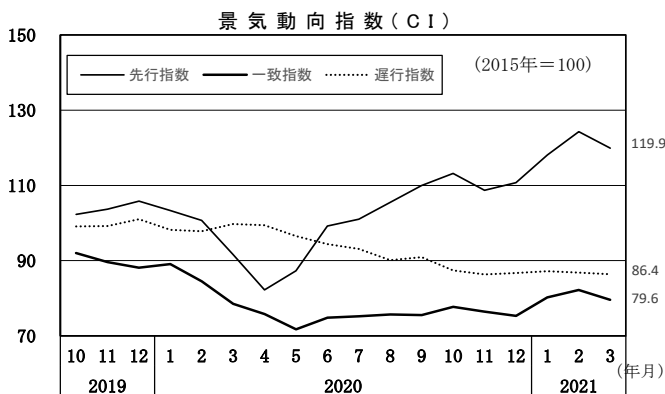
(資料)帝国データバンク

4月の企業倒産件数は、20件で前年同月比12件の減少となった。負債総額は8億円で同28億円の減少となった(5か月後方移動平均では、件数は前年比5.4%減、金額は1.8%増)。

業種別にみると、小売業が6件で最も多く、建設業5件、サービス業が4件で続いている。主因別では、販売不振が16件となっている。

## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 上方への局面変化を示している



(資料)埼玉県

3月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、79.6で前月比2.6㊦低下し、3か月ぶりの低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、119.9で同4.4㊦低下し、4か月ぶりの低下となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、86.4で同0.4㊦低下し、2か月連続の低下となった。